

代表者・競技役員会議資料

1. 競技について

- (1)本大会は 2019 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則により実施する。
- (2)予選競技はオーバーザトップ方式（背泳ぎを除く）で行う。タイムレース決勝、及び決勝は選手の入場を行う。
- (3)競技はタイムスケジュール通りに実施する。招集は当該種目開始時刻 20 分前より行う。なお、予定時刻より 20 分の前後のズレが生じた場合は通告で周知する。
- (4)棄権をする場合は 8 時 30 分までに招集所へ書類を提出すること。
- (5)リレーオーダー用紙は当該種目開始時刻 1 時間前までに招集所へ用紙を提出すること。
- (6)レースで使用するキャップ等について、出場する所属チーム名、もしくはロゴマーク規定で許されているものを使用すること。
- (7)決勝進出に係り同タイムの場合はスイムオフを行う。該当する選手は通告で周知し、競技時刻を双方相談の上決定する。なお、決勝に係らない同タイムの場合は機械で割り振られた通りに競技する。

2. 表彰について

- (1)決勝競技終了後、直ちに表彰を行う。該当者は速やかに招集所へ集合すること。なお、タイムスケジュールがあるため、該当する選手がいなくても表彰を開始する。
- (2)表彰台ではメダルのみを授与し、賞状はチームごとに大会本部より持っていくこと。
- (3)表彰式の円滑な運営のため、写真撮影のためのブースを設ける。よって表彰台での写真撮影にはあまり時間を要さずに行う。

3. プールの使用について

- (1)サブプールは使用できない。
- (2)休憩時間、及び表彰式時間で競技開始時刻 5 分前まで 5~8 レーン、飛込用 9 レーンを練習用に開放する。なお、時間になったら速やかにプールから上がること。
- (3)練習中のパドルの使用は禁止する。なお、シュノーケル・フィンを使用できる。
- (4)公式スタートは両日ともに 7 時 40 分~8 時 10 分まで、5~9 レーンで行う。なお、状況により 4 レーンを追加することがある。

4. その他

- (1)スポーツマンとして規律ある行動をすること。またプール施設の使用方法を遵守すること。
(土足・ゴミのポイ捨て等をしない・上履きはソールが白もしくはゴム色)
- (2)本大会の忘れ物は全て岩手県水泳連盟で 1 か月間保管する。なお、1 か月過ぎても申し出がない物は廃棄するので留意すること。